

あとがき

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
荻野利彦
小野啓郎
竹光義治
守屋秀繁
富田勝郎
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

菊地 臣一
編集委員
金谷文則
黒坂昌弘
清水克時
高岸 憲二
土屋 弘行
戸山芳昭
内藤正俊
吉川 秀樹

編集同人

井形高明 澤村 誠志
生田義和 田辺剛造
井樋栄二 田畑四郎
岩田 久 玉置哲也
岩本幸英 中村耕三
大井利夫 馬場久敏
小野村敏信 浜西千秋
加藤博之 佛淵孝夫
金田清志 三笠元彦
腰野富久 三浦隆行
紺野慎一 持田讓治
榊田喜三郎 山田治基
酒匂 崇 吉川靖三
桜井 実

平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分に発生した、あの忘れることのできない東日本大震災から早 2 年が経ちました。2 万人弱の方が犠牲となり、いまだに数千人の行方不明者がいらっしゃいます。そして、30 万人強の方が今なお避難生活を余儀なくされています。放射性物質の除染作業もほとんど手付かずの状況にあり、特に子供への影響や高齢者の健康状態悪化、心的外傷後ストレス障害(PTSD)を含めた精神面の問題など多方面に亘る健康面の問題から、社会・経済・環境面まで、復旧復興にはほど遠い状況下にあるのが現状です。そこで 2 年経った現在、この未曾有の大震災を皆さんがそれぞれに振り返り、現状を直視し、一人の国民として、医師として、整形外科医として何ができたか、どう行動してきたか、どうあるべきであったかをもう一度見つめ直すよい機会かと思います。この大震災で日本に、日本人に投げかけられた課題は極めて大きいはずで

さて、正確に計測、記録されている世界で発生した大きな地震は、1960 年のチリ大地震のマグネチュード 9.5 が最大級で、以下、1964 年のアラスカ沖地震 9.2、2004 年のスマトラ沖地震 9.1、そして、1952 年のカムチャッカ沖地震と今回の東日本大震災が 9.0 でした。東日本大震災では太平洋プレート全域が数メートル押し上げられ、津波の最大高は何と 37 m、そして、津波による浸水域は 561 km²(山手線内側面積の約 9 倍)、建物全壊 12 万 8,914 戸、半壊・一部損壊・浸水家屋約 117 万戸、インフラなどの被害総額約 17 兆円、農林水産業の被害総額約 2 兆円と言われています。また当時、32 カ国の大使館が一時閉鎖となり、発生後 1 週間で 24 万人の在日外国人が国外退去しました。投入された自衛隊派遣総人数は 10 万人強で、アメリカ軍の支援もありました。世界中からボランティアも多数集まり、被災者への支援を惜しみなく行ってくれました。また、日本中から医療支援も積極的に展開されました。犠牲になった 2 万人の中には医師 20 名、看護師 16 名も含まれており、住民を守り、誘導し、安否を確認するため、危険を顧みずにそれぞれの職を遂行して犠牲になった方々もおられました。そして今、何より問題となっているのが「レベル 7」の福島原発事故に伴う大量の放射性物質漏洩です。広範囲の汚染地域がいまだ手付かず状態で、放出されたセシウム 137 は広島原爆の 168 倍とも言われています。すべてを科学的に検証し、公開し、次世代に亘る健康管理が求められています。ここまでの現実を直視し、現時点で、それぞれの立場、視点から見つめ直しておくことが必要かと思われます。

今、世界も日本も、政治・経済、医療、そして価値観までも大きな変換点にあるようです。この時期を、坂本龍馬、西郷隆盛、桂小五郎、福澤諭吉らはどう考え、どう動かれるでしょうか。聞いてみたい、みてみたいものです。

さて、本号には「創外固定の将来展望」と題してシンポジウムが組まれています。そして「論述」や「手術手技」、「整形外科・知っているつもり」、「連載」、「臨床経験」にも臨床に役立つ、極めて興味ある論文が多数掲載されています。それぞれが示唆に富む論文であり、ぜひご一読ください。

(戸山芳昭)

臨床整形外科 (第 48 巻第 3 号)

2013 年 3 月 25 日発行(毎月 1 回 25 日発行)

定価 2,625 円(本体 2,500 円+税 5%)

2013 年 年間購読料(税込、送料弊社負担)

冊子版 29,400 円

冊子+電子版/個人 34,400 円

冊子+電子版/共有 38,900 円

電子版/個人 29,400 円

電子版/共有 33,900 円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

オンライン投稿 ID:rinseige パスワード:rinseige

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・山崎)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2013, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。